

いせはらしなんばー71 いせき

伊勢原市No.71 遺跡

(粟窪地区)

(伊勢原市No.71 遺跡)

調査期間 20101001～継続中

所在地 伊勢原市粟窪

時代

奈良・平安
中世
近世



作成日:20101209 更新:20120418

概要

伊勢原市No.71 遺跡(粟窪地区)は小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの台地上に立地しています。調査は中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴い平成22年10月1日から実施しています。

平成23年度に調査を実施した6区では、奈良・平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが多数発見され、台地の南側に集落が存在していたことが明らかとなりました。竪穴住居は方形または長方形を呈していて、東または西側に竈が設けられています。規模は一辺2.4m～5.4mと様々ですが、3m台が主体を占めています。遺構が重なって見つかっていることや出土遺物などから、集落は比較的長い期間営まれていたものと思われます。



▲ 6区東側全景(奈良・平安)



▲ 6区 H2号竪穴住居跡(奈良・平安)